



Profile ● 1968年 東和町米谷生まれ。佐沼高卒業後、市内の電子機器製作会社に2年間勤務。退職して家業を継ぐ。趣味はドライブと愛車いじり。特技はカラオケ。座右の銘は「日々精進」

20年以上にわたって、地元の若者たちと接してきました。

最近の若い人たちは、ゆとり世代とかさとり世代とかいわれていますが、話してみるとそれぞれきちんと考えを持っています。

SNS時代、フェイス・トゥ・フェイス

のコミュニケーションが減り、おとなしくなったような気はしますが、内面的には昔も今も変わりません。

古里発展には、若い力が必要です。やりがいのある仕事を見つけ、自分のために、古里のために、精一杯頑張っしてほしいです。



1_23年前に佐藤理容店からリニューアルしたヘアスタジオトーワ
2_3_市内で百年以上続く理容店は非常に少ない。店内には、「安床」時代から世の移り変わりを見てきた椅子と陳列棚が並ぶ

「メージできたほど」と笑う。専門学校を1年で卒業。国家試験にも合格し、太白区内の理容店で1年間インターン。翌春、青葉区内の理容店に就職し、腕に磨きかけた。

そんなある日、インターンの先輩から食事に誘われた。そして「(朋幸の)評判は聞いてる。いつまでサラリーマン理容師をするつもりだ」と独立を進められた。理美容業界は独立してこそ一人前。人として、男として尊敬できる先輩の一言が背中を押した。腹は決まった。

独立を決意して真っ先に頭に浮かんだのは実家。「古里は一番の選択肢」と迷わずUターンを決めた。さらに、「仙台で暮らして、あらためて思いました。自分が登米市を好きだ」と。人と人のつながりやコミュニティの結束力は「都会にはない登米の魅力」とも。

こうして92年12月、「佐藤理容店」を「ヘアスタジオトーワ」にリニューアル。両親と三人四脚で新しい一歩を踏み出した。

常連の一人中田町石森長根の阿部萌樹さん(19)は「ここは、父と叔父の行きつけの店。自分も高2から通っています。髪形を変えたいときは親切にアドバイスをしてくれるし、出来上がりも満足です。口数の少ない自分の話を引き出してくれる接客も心地よいです」とにっこり。

お客さんの多様化する



常連の一人 阿部萌樹さん

2015年9月の迫管内の職種別求人・求職対照表

(単位:人、%、資料:ハローワーク迫)

職種	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
管理的	11	12	0.92
専門的・技術的	112	78	1.44
事務	50	241	0.21
販売	58	104	0.56
サービス	127	110	1.15
保安	67	13	5.15
生産工程	129	247	0.52

職種	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
輸送・機械運転	110	79	1.39
建設・採掘	72	63	1.14
運搬・清掃・梱包等	14	121	0.12
その他	14	19	0.74
職業計	764	1,087	0.70
介護関連職業合計	76	50	1.52
福祉関連職業合計	105	64	1.64

*新規卒者とパートを除く

戻るといって選択

生まれ育ったこのまちに、Uターン自ら道を切り開き、挑戦し続けるカリススマ理容師。彼が古里登米市を選んだ理由とは？

東 和町米谷商店街に百年以上の歴史を誇る理容店がある。「ヘアスタジオトーワ」だ。創業は明治時代。店主の佐藤朋幸さんは4代目。23年前にUターンし、家業を継いだ。

当時の客は、父元明さんの常連さんや朋幸さんの知人、友人だけだったが、現在は、地元米谷地区以外からも多くの人が訪れる。中には、初代「安床」(愛称)時代から代々家族で足を運ぶ常連も。

老舗理容店の跡取りとして育った朋幸さんだが、高校卒業後は市内の電子機器製作会社へ就職した。「若気の至りかな。敷かれたレールが嫌だった」と振り返る。

だが、目標もなく就いた仕事に、やりたいことも、やりがいも見いだせない不完全燃焼の日々が続き、「仕事とは何か、働くこととは何か」を自問自答し続けた。そして、悩んだ末に退職。理容師の道を決意した。

「おれ、理容師になる」両親は何も言わずにうなずいた。「蛙の子は蛙だね。普段、無口な二代目(祖父)の喜ぶ顔を見て、自分までうれしくなった」。

早速、仙台市内の理美容専門学校へ入校。知識と技術を学んだ。「小さい頃、両親に切ってもらった髪形が気に入らなくて、よく観察した。中学時代には、(髪型の基本となる)展開図がイ

幸せに必要なこと 30歳になった時の必要な「幸せ」(3つまで選択)

- 1位: やりたい仕事をしていること.....53.1%
- 2位: 好きな趣味をできていること.....42.6%
- 3位: 結婚していること / 家族・子どもに恵まれていること...39.8%
- 4位: 友人に恵まれていること.....38.8%
- 5位: 人より多くのお金を持っていること.....31.4%

an若年層白書2014から